

## 東京 IPO 特別コラム

---

2017年1月4日 Vol.63

### トランプ相場への期待と不安の始まり

皆様、明けましておめでとうございます。昨年は本コラムをご愛読賜り心より御礼申し上げます。本年も引き続き宜しくご愛読の程をお願い申し上げます。お正月休みを故郷で過ごされた方も海外で過ごされたという方、自宅でのんびりという方も2017年の株式相場が始まりました。昨年末のトランプ相場の余韻を受けた本日の大発会は期待と不安の始まりでもあります。まずはNY株高と円安スタートで明るいスタートながら日米ともに株式相場は既に先取りした感があります。1月20日にトランプ新大統領が正式就任し、選挙期間に公約した政策がより具体的に国民の前に示されることとなります。その就任セレモニーを前に2017年の取引が開始された株式市場の値動きがポジティブなものとなるかネガティブなものとなるか関心が寄せられます。既に多くの市場関係者やエコノミストなどから2017年相場への期待が示されていますが期待が失望につながるのか、意外にも更に強い展開となるのかを皆様とともに見守ることにしたいと思います。

巷間様々な評論家から指摘されているグローバリズムを否定しナショナリズムを肯定する米国のトランプ大統領の政策が日本企業にとってはどのように業績に反映されるのか、期待が裏切られることはないのか、想定される積極的な財政政策は息切れしないのか、法人税減税がもたらされる米国企業へのポジティブな影響などしっかり確認しながらここからまずは半年間の株式相場を見ていく必要があります。今年も投資家の心理は様々な出来事で揺れ動くことが予想されます。2016年は前半安から後半高となりましたが、大型主力株と中小型材料株との値動きにも違いが見られました。大型主力株が活躍する流れでは中小型材料株は用なしとなりがちですが、昨年は日経平均こそ前年末比0.4%上昇して終わりましたが、TOPIXは1.85%のマイナス。これに対して、東証2部指数は10%を上回る上昇を示したほかJASDAQ指数やマザーズ指数も6%上昇するなど年間を通じた投資家の関心は中小型株に向いている点に注目したいと思います。また、昨年のIPO銘柄数は83に留まりましたが、その多くはマザーズに上場しており、今年もマザーズやJASDAQを中心にした中小型株の活躍が大いに期待されます。昨年は前半こそ創薬ベンチャーやロボット関連企業の活躍が顕著でしたが、年後半はフィンテック、AI、IoT関連、VRといったテーマ株が活躍を見せましたが、今年の活躍株は果たしてどうなるでしょうか。テーマ株は一時的に人気化しても長続きするかがポイントです。業績の向上を伴わない一過性の人気がそう長くは続かない可能性もあります。昨年のIPO銘柄では年間を通じた株価の上昇が見られたのは、意外にも中本パックス(7811・包装容器など・公開初値1480円→12月30日2962円)、ヨシムラHD(2884・食品M&A・同1320円→同2060円)、エボラブルアジア(6191・航空券予約・同2670円→同2163円×3)、ストライク(6196・M&A・同7770円→同5140円×3)、インソース(6200・講師派遣・

## 東京 IPO 特別コラム

---

同 810 円→同 1447 円)、リファインバース (6531・産業廃棄物処理・同 2770 円→6950 円) などです。いずれもテーマ性を追うのではなく地味な業態ながら好業績を背景にした評価の向上が背景になった株高だと見られます。つづさに 2016 年の IPO 銘柄の値動きを観察すると 2017 年における投資対象の方向性が見えてくるのかも知れません。

2017 年相場は始まったばかりですが、今年もまた IPO 銘柄の中から新たな活躍株が見出せると期待されます。大型主力銘柄にはない株価変動の醍醐味を皆様には味わって頂ければ幸いです。本コラムでも今年もまたそうした活躍株を取り上げて参りたいと存じますので宜しくお願いします。

(東京 IPO コラムニスト 松尾範久)